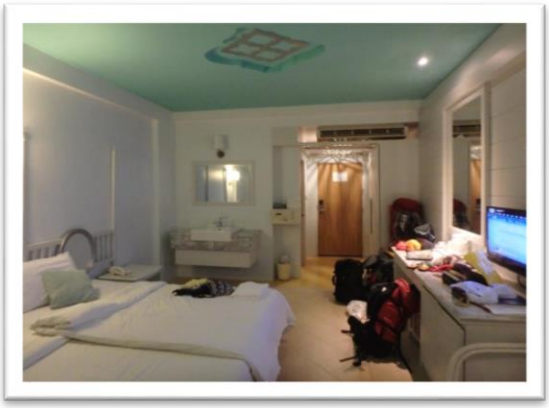
タイ　プラナン　山行報告

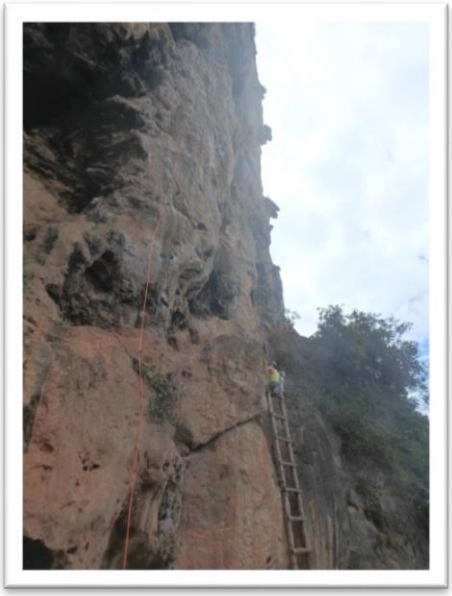
山　　域　　タイ　ライレイ(通称　プラナン)
登山形式　　フリークライミング
メンバー　　ＣＬ　平野直　SL 上茂　大塚　萱野香　鈴木玲　前田　宮城　山田(会員外)
　　澤田淳(記録)
行 動 日　　２０１６年　１月１５日～１９日

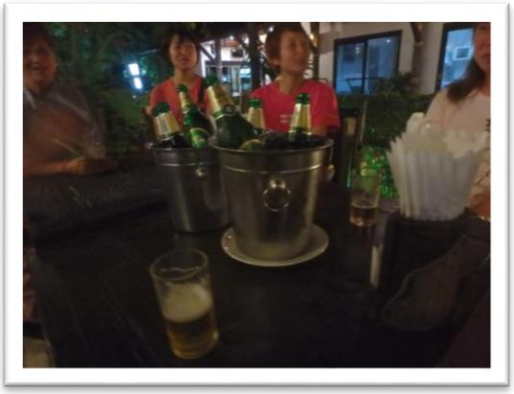
１月１５日
１０時１５分成田発バンコック経由グラビ空港着１８時半。
空港を出てすぐにカウンターがあり、１０人乗りの乗り合いタクシーが、今晩のホテル　ザベランダまで１０５０バーツ(日本円で３６００円位)と表になっていて、安心で、わかりやすい。外に出るといきなりの夕立と雷のお出迎えである。蒸し暑い。
程なくきれいな大型乗用車が来て乗り込む。ホテルについてすぐにまずは冬仕様から真夏の服に着換えて夕食を食べに食堂探し。新鮮な魚の並ぶお店は、９人でははは入れず、別のお店へ。タイのビールでまず乾杯。美味しいけれど辛いタイ料理を次々と平らげ、
どのグル―プより騒がしい。恐るべしちば山女子会の熱い第一夜は更ける。



１月１６日
６時起床。７時ホテルで朝食。朝からかしましい９人は、ホテルのお姉さんにシー！
叱られる。今日は、いよいよボートでライレイへ渡る。桟橋がないので
、荷物をかついだまま海に入って小さい船に乗るのだ。
波がきて短パンまでぬれそうになりキャー、キャー騒ぐ。なんだか楽しい。
２０分も乗っただろうか、素晴らしい岩山群と美しい入り江の前に４日間滞在するホテル
ライレイビレッジリゾートスパが見える。地元の男の子が、海の中で、マンゴーのような
フルーツを大きいナイフで切って食べたり船の父親にあげてる。
ウーン、南国リゾート‼夢の中の出来事のようだ。

８時４０分チエックイン後１０時に歩いて１５分のタイワンドウオールへ出発。
今思えばここからが、リゾートに来たのではない山岳会のクライミングの幕開けであった。
石灰岩のものすごい形の岩々と１本登るだけで汗ビッショリの長いルートと裸に近いタトゥーの入った色々な国の方々と何よりその暑さに初めてのメンバーは、ビビり気味。私達を楽しませようと水を得た魚のようなリーダーは、空いているルートを探しサブリーダー共々せっせとロープをかけてくれる。感謝昼食も行動食もないまま１６時５０分終了。
みんなの顔が、お風呂でのぼせたように赤い。ひとり４、５本登り、滑って落ちたのは私だけだったが、最後のほうは、さすがに皆岩になれてきた。海岸に降りると、
リゾートの人でいっぱいだ。ホテルにもどり部屋の前のプールに飛び込んだり
お風呂に入ってからホテルで夕食。タイの薄いビールが、五臓六腑に染み渡る。
嵐のように辛いタイ料理とタイ米をいただきまたビール。
部屋に戻ってもお酒とおしゃべりは、続く。私は、さっさと夢の中なので、
ここからは、残念ながら記録できない。

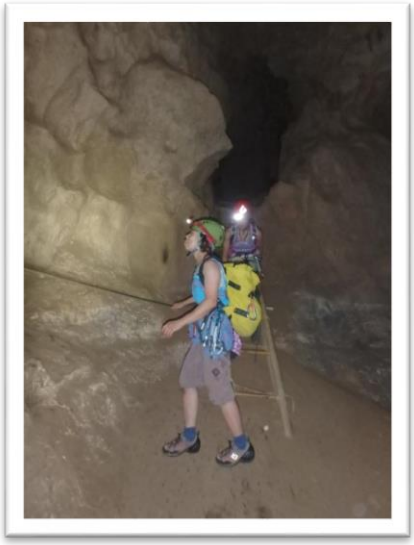


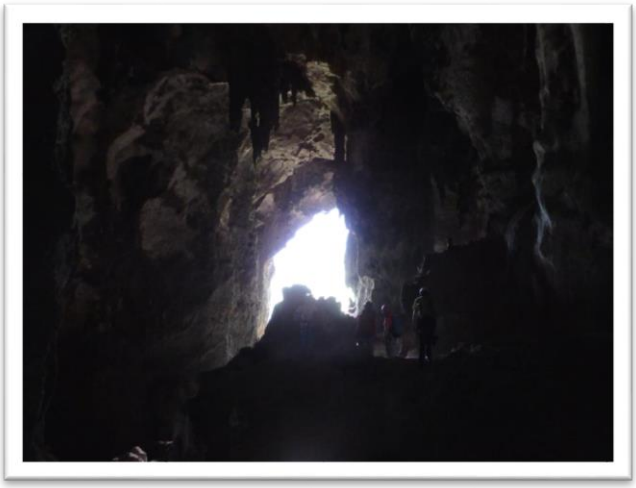


１月１７日

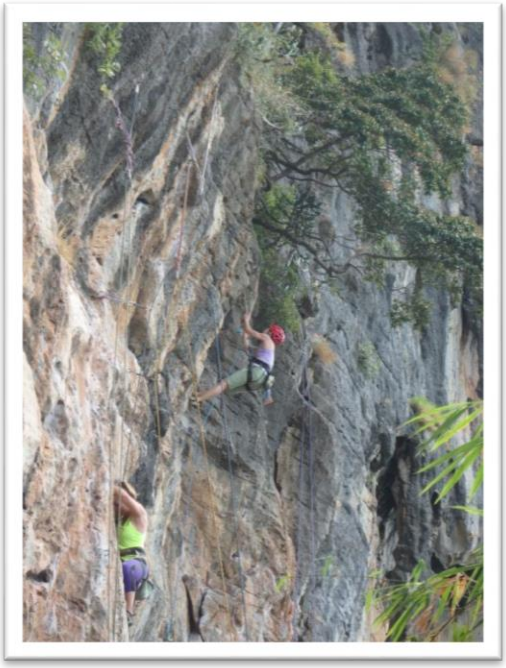
６時半起床。７時朝食。昨日のことがあるので、バナナとパンを余計にとりザックへ忍ばせる。部屋にはオレンジとリンゴを毎日おいてくれるので、それも持ち水も１リットル持つ。

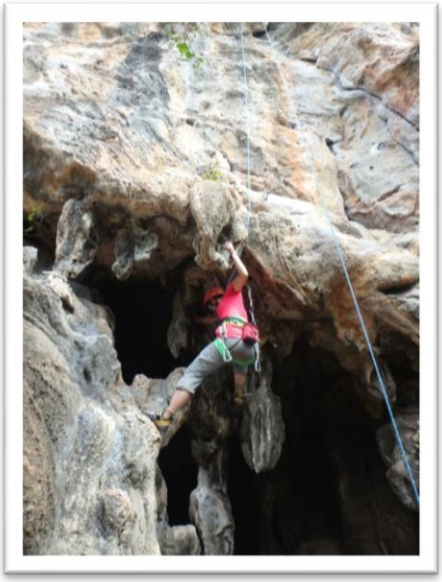
８時半出発。昨日のタイワンドウオールのルートから荷物を持って登り、へっでんをつけ真っ暗な洞窟を通っていくのだ。ワオー！インデイージョーンズの冒険のようだ。どんどん行くとパアーっと視界が開け海が見える。素晴らしい景色。

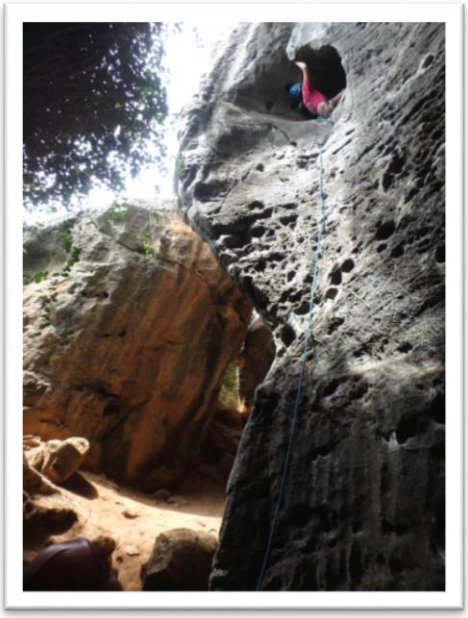


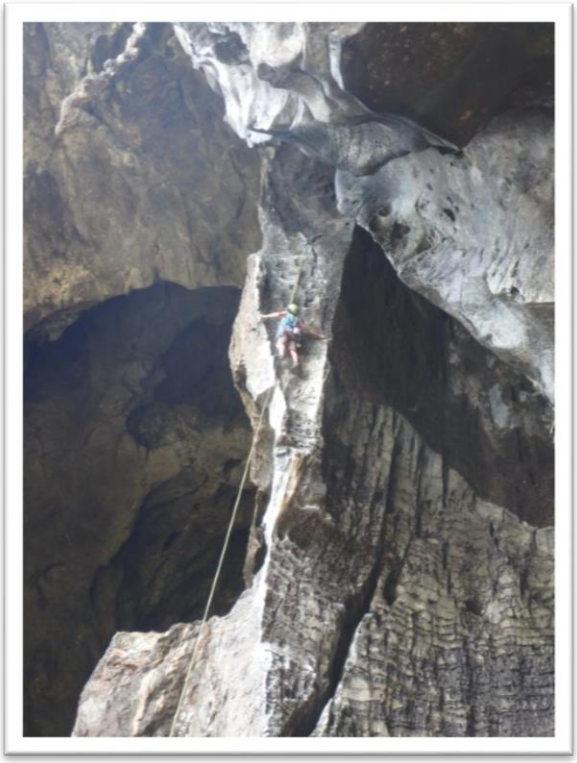


昨日よりさらにビックな岸壁だ。１０時到着。４，５本登る。４，５本といっても１本がやたらに長い。特にベストルートオブミネソタというルートは圧巻で、登れた人に、拍手が出るくらい素晴らしい！みんなの顔が、またお風呂でのぼせた人のように赤くなっている。太陽の当たるところは、半端なく暑い。リーダーとサブリーダーは、今日も水を得た魚のように私たちのために空いているルートを探してロープを張ってくれる。感謝。１４時半終了。

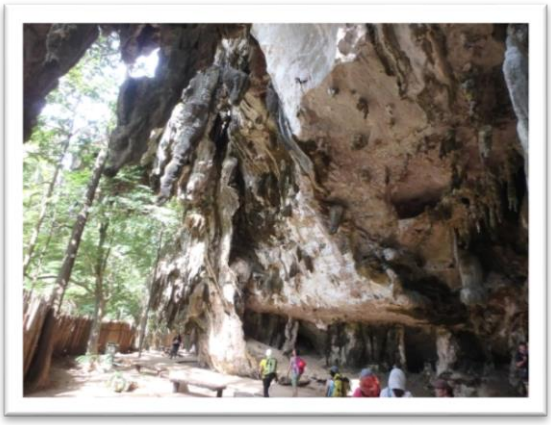






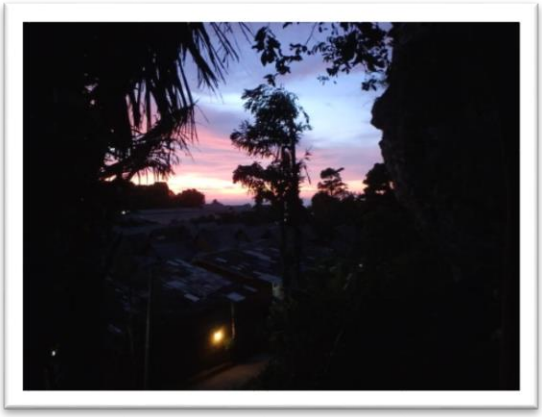


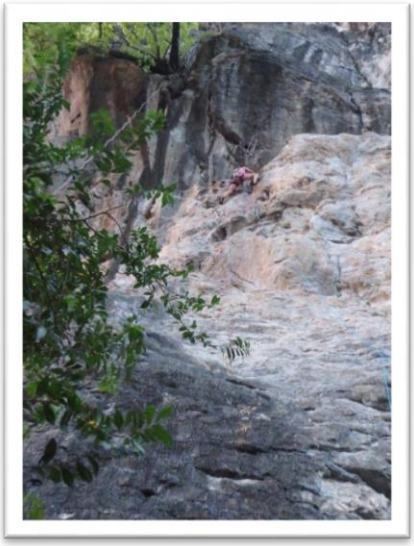
反対側の海岸に降りるとすごい人である。私は、どうしてもタトウーの見事な人に目がいってしまう。１５時海岸前の食堂で、ビールで乾杯。世界で一番おいしいカレーといわれているマッサマンカレーを注文。ジャガイモが、ゴロゴロ入っていて辛いけれど美味しい。ホテルよりずっとリーズナブルで、味もよい。やはりちば山女子会が、どのグループよりかしましい。ホテルまでの道には、タトウー屋さんと三つ編みをたくさん編んでくれるお店とタイマッサージ屋さん多し。１７時ホテル着。海の夕焼けの美しいこと！夢のようだ。フリータイムの後、窯焼きピザ屋さんで、遅めの夕食。ビールとカクテルでまたまた乾杯。パパイヤサラダがさっぱりとおいしい。美しい月を眺めながら帰る。



１月１８日

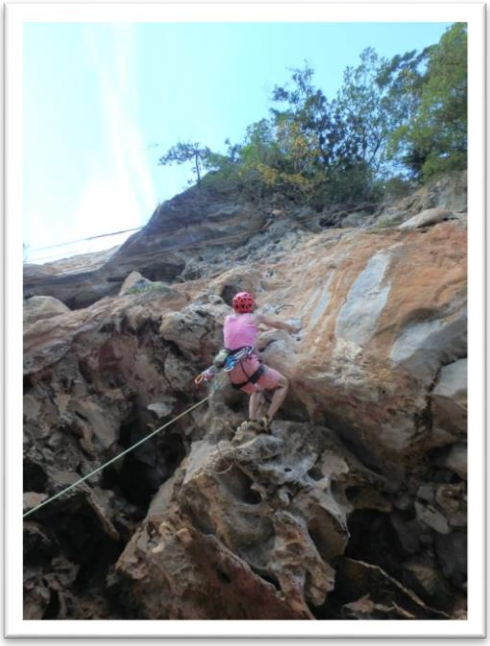
今日は、１日で３つの岩場という盛沢山な予定である。６時起床。朝食前に ホテルの後ろにある初心者向きのダイヤモンドケイフで、８時４０分まで４本登る。私でもリードできるやさしさだが、猿たちがルートにいて、お願いしてもどいてくださらないで困った。

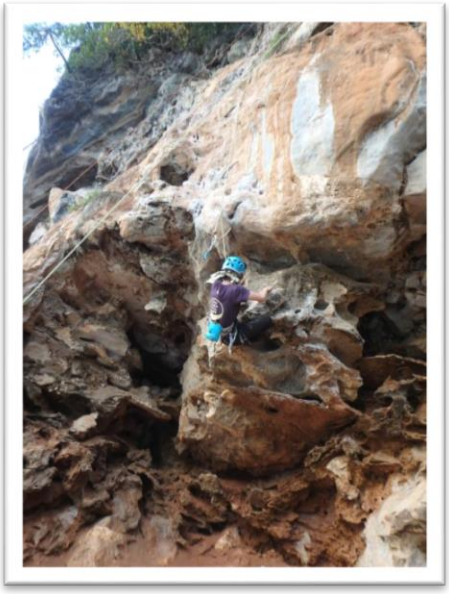




９時ホテルで朝食。１０時５０分から１４時１５分まで、タイワンドウオールの下にあるウイーズプレゼントで、３，４本登る。ここは、結構かぶっていて難しい。私などずっとウンウン唸っていたらしい。

ホテルでランチの後反対側のコブラウオールに向かう。海岸を歩き、結構な山道を行き、やっと着いたと思ったら、離陸地点が、あららずいぶんかぶっているじゃありませんか！私は、大ヌンチャク祭りで、冥途の土産に触らせてもらいましたが、最後の詰めで、敗退。勉強になりました。





１８時ホテルにヨレヨレ到着。プールで泳いでいたら
マッサージ室発見。全身オイルマッサージで、夢のような時間を過ごす。隣のホテルで夕食。雨がぱらついてきたので例によって私はバタンキュウだが、宴会は、また夜中まで続いたようだ。

１月１９日

６時３５分ワンツースリールートに行ったグループは、４本登ってきた。ここは、体験クライミングのやさしい人気観光ルートで、朝早くないと取り付けないということだ。別グループは、海で海水浴。９時最後の朝食。このホテルの具をチョイスして目の前で焼いてもらうオムレツは、熱々で、人気だった。１１時チエックアウト。１４時のランチの前後は、それぞれフリー。１６時ボートに乗り、相乗りタクシーで１７時２５分クラビ空港着。ここのトイレで、日本からの服に着替える。１８時５５分クラビ空港発２３時１５分バンコック発。

１月２０日

７時４０分成田空港着。窓から真っ白い富士山が見え、飛行機から降りたら冬だった。

初めての海外クライミングは、どうなることかとドキドキでしたが、体験のあるリーダー、サブリーダー、会員外の Y さんのおかげで、安心して夢のように楽しい贅沢な時を過ごすことができましたこと感謝です。素晴らしいタイの自然と面白い岩もさることながら個人的に一番よかったことは、一緒に過ごすうちに８人の女性たち一人ひとりの新たな魅力がわかってきて、やはり山旅も人なんだなあと思えたことでした。びっくりぽんなことに５日間家族をはじめ仕事や日本のことは何一つ思い出しませんでした。(父ちゃんごめん)、なんの役割もしがらみもなく一人の人としていた５日間だったのですね。何か寿命が延びた気がします。「コップンカー！」合掌。